



仮受金(前受金・預り金)の内訳書

科 目		相 手 先						期末現在高 円		摘 要	
		名 称 （ 氏 名 ）		所 在 地 （ 住 所 ）		法人・代表 者との関係					
E01		E02		E03		E04		G01		E05	
E06		E07		E08		E09		G02		E10	
E11		E12		E13		E14		G03		E15	
E16		E17		E18		E19		G04		E20	
E21		E22		E23		E24		G05		E25	
E26		E27		E28		E29		G06		E30	
E31		E32		E33		E34		G07		E35	
E36		E37		E38		E39		G08		E40	
E41		E42		E43		E44		G09		E45	
E46		E47		E48		E49		G10		E50	
E51		E52		E53		E54		G11		E55	
E56		E57		E58		E59		G12		E60	

(注) 1. 「科目」欄には、仮受金、前受金、預り金の別を記入してください。
2. 相手先別期末現在高が50万円以上のものについては各別に記入してください。
3. 相手先が「役員、株主又は関係会社」のものについては、期末現在高が50万円未満であっても全て各別に記入してください。
4. 上記2による記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。
① 期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入（この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入）
なお、相手先が「役員、株主又は関係会社」である場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。
② 期末現在高を自社の支店又は事業所別等で記入（支店又は事業所等の名称を「名称（氏名）」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄にその支店又は事業所等の合計金額（50万円未満のものも含む合計金額）を記入）
なお、記載口数が100口を超えるか否かは、仮受金、前受金及び預り金との合計口数で判断してください。
5. 「摘要」欄には、例えば「受注工事の前受金」、「源泉所得税預り金」等と記入してください。
なお、上記4②の記載方法による場合には、記入しなくても差し支えありません。
6. 社内預金である場合には、「相手先」欄に「社内預金」と、「期末現在高」欄に期末現在高の合計額を、「摘要」欄には期中の支払利子額（未払利子を含みます。）をそれぞれ記入してください。

源泉所得税預り金の内訳書

支払年月					所 得 の 種 類		期 末 現 在 高		支払年月					所 得 の 種 類		期 末 現 在 高	
元号	年	月	分						元号	年	月	分					
L01			G13		G14		G15		L02			G16		G17		G18	
L03			G19		G20		G21		L04			G22		G23		G24	
L05			G25		G26		G27		L06			G28		G29		G30	
L07			G31		G32		G33		L08			G34		G35		G36	
L09			G37		G38		G39		L10			G40		G41		G42	
L11			G43		G44		G45		L12			G46		G47		G48	

(注) 「所得の種類」欄には、給与所得は「1」、退職所得は「2」、報酬・料金等は「3」、利子所得は「4」、配当所得は「5」、非居住者等所得は「6」と簡記してください。